

# メールからの卒業

文字などでリアルタイムに会話するチャットソフトによく似た無料のコミュニケーションソフトを、大阪府吹田市のITベンチャー「EC studio」が開発した。国内の利用者が、サービスを始めた今年3月から4カ月間で3万人に達する



山本敏行社長

見通しで、電子メールに代わって代わる勢い。利用者が約6億人とされるインターネット電話「スカイプ」超えを目指し、米国で29日に英語版を発表する。

ソフト「チャットワーク」はインストールする必要がなく、サイト (<http://www.chatwork.com/ja>)

## 相手不在でもチャット送信

大阪のIT企業開発

上で利用できる。通常のチャットソフトと違い、相手がネットに接続していない時でもメッセージが送信できる。誤送信したメッセージを取り消すことも可能。また、やり取りが暗号化され、メールよりも安全性が強化されている。7月中にスマートフォン（多機能携帯電話）にも対応させる予定。

山本敏行社長(32)は29日(米国時間28日)、米サンフランシスコで開かれるITイベントに出席し、ソフトの英語版の発表をする。山本社長は「メールでコミュニケーションする時代は終わった。今年のキーワードは『メールからの卒業』。チャットワークを世界標準にしたい」と意気込んでくる。【高橋望】